

則竹先生による「命の大切さを学ぶ教室」

(R8. 5. 15)

10年前に自身のお子様を交通事故で失われた則竹先生にお越しいただき、「命の大切さを学ぶ教室」を実施しました。

事故当時のことや、大切な家族の思い、被害者のお兄さんの言葉、当たり前にあった日常から家族が突き付けられた現実を一つひとつ丁寧な言葉でお話しいただき、胸が締め付けられる思いで聞きました。

【生徒の感想】

Iさん:「スマホは便利だ」と感じることのほうが多くあります。しかし、「肉体も心も傷つける手のひらの凶器でもある」ということを聞いてとても納得しました。それとともに使い方をもう一度考えなくてはいけないと感じました。

Tさん:特に印象に残ったのは誹謗中傷の話です。何も知らない第三者からの心無い言葉で人を平気で傷つける事実があったことがとても衝撃的でした。自分の息子さんが亡くなって精神的に辛いときに、追い打ちをかけるような人間がいることがとても怖いと思いました。

Aさん:この事故のニュースをテレビで見た記憶があります。潰れた水筒を見て涙が止まりませんでした。お兄さんの「潰れた水筒を戻さなきゃ」という話に心が痛くなるような気持ちになりました。

